

# 子宮頸がんワクチンのお知らせ 子宮頸がんを予防しよう

ヒトパピローマウイルス(HPV)は性交渉をきっかけに子宮頸部に感染するウイルスで、子宮頸がんの原因になります。

HPVは多くの女性に感染の機会があり、ほとんどの人が知らない間に感染をしています。感染しても多くの人が無症状ですが、一部の人で癌化してしまい、子宮頸がんになってしまうことがあります。

日本では毎年約11,000人の女性が子宮頸がんになり、毎年約2,800人の方が亡くなっています。これは子宮頸がんワクチンの接種が進んでいる先進国と比較した際に非常に高い数字です。このような状況を改善するために、子宮頸がんワクチンは令和3年から定期予防接種に戻ることになりました。対象者2022年4月以降、自宅に予診票が郵送される予定です。

ワクチンを打つことで子宮頸がんの原因となる種類のHPVウイルスの感染を50～70%を防ぐことが出来るため、子宮頸がん検診に加えてワクチン接種を受けていただくことが子宮頸がんに罹患してしまう女性を減らすためには重要であると言えます。

当院では、子宮頸がんの原因となるHPV16,18型に加えて、6,11型にも予防効果のある**ガーダシル**という種類のワクチンを推奨しています。

## ◆ガーダシル定期接種対象者(無料)

小学校6年生(年度初めの4/1)～高校1年生(年度末の3/31)相当の女子

※標準的な接種時期は中学校1年生です

(上記対象者は公費助成が受けられるため費用はかかりません)

## ◆上記の対象年齢を過ぎてしまった方への救済措置について

令和3年12月、子宮頸がんワクチンを打ち漏らした人に対する救済措置(無料で接種)が決定しました。(1997年(平成9年)度～2005年度(平成17年)度)生まれの女性は、2022年4月～2025年3月までの間の3年間、救済措置として無料で接種を受けることが可能です。

上記に該当する方で接種ご希望の方は、2022年4月以降に接種をお申込みください。

## ◆ガーダシルの接種スケジュール

合計3回の接種を行います

●1回目:ご都合のいい日程にて実施 **※事前予約が必要です**

●2回目:1回目の接種の2ヶ月後に実施

●3回目:1回目の接種の半年後に実施

ワクチンに関するより詳しい情報をお知りになりたい方は、厚生労働省のHPをご覧ください。また、当院HPにリンク先を貼ってありますのでよろしければご参照ください。